
在宅介護実態調査
報告書

令和5年9月

<善通寺市>

目次

I. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 回収状況	1
II. 調査結果	2
基本調査項目（A票）	2
(1) 世帯類型	2
(2) 家族等による介護の頻度	3
(3) 主な介護者の年齢	4
(4) 介護のための離職の有無	5
(5) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス	6
(6) 施設等検討の状況	8
主な介護者様用の調査項目（B票）	9
(1) 主な介護者の勤務形態	9
(2) 主な介護者の働き方の調整の状況	10
(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	11
(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	13
III. 要介護認定データ	15
(1) 年齢	15
(2) 性別	15
(3) 二次判定結果（要介護度）	15

I. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的に実施しました。

(2) 調査の実施について

調査種類	在宅介護実態調査
対象者	・善通寺市にお住いの在宅で生活をしている要支援・要介護者の方
実施期間	令和4年11月1日（火）～令和5年6月30日（金）
実施方法	聞き取りによる調査

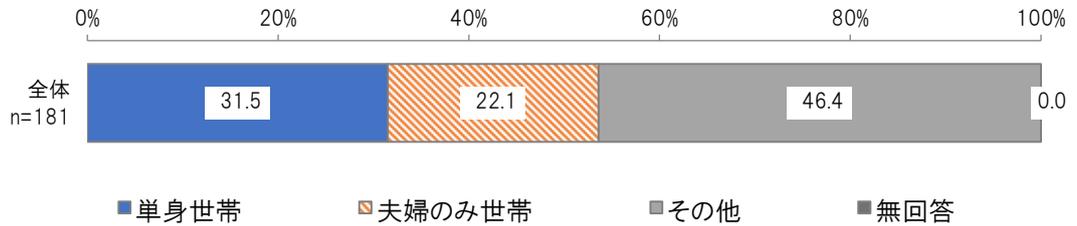
(3) 回収状況

配布数	回収数		有効回収率
	全体	有効	
181件	181件	181件	100.0%

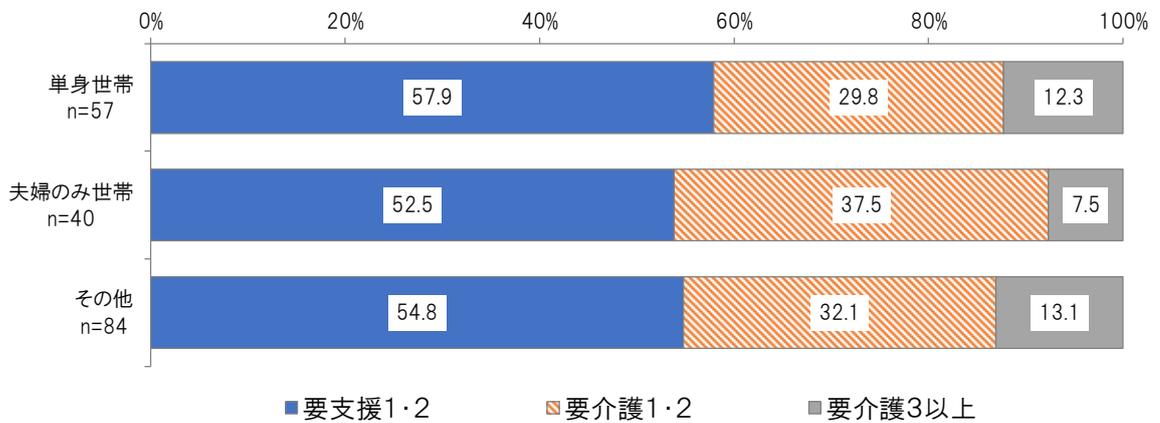
Ⅱ. 調査結果

基本調査項目（A 票）

（1）世帯類型



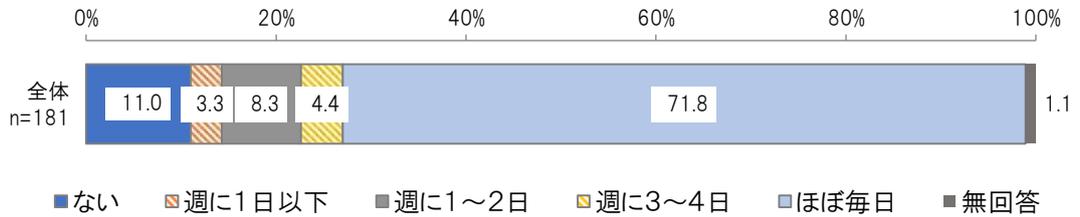
● 「夫婦のみ世帯」で「要介護1・2」がやや多くなっています。



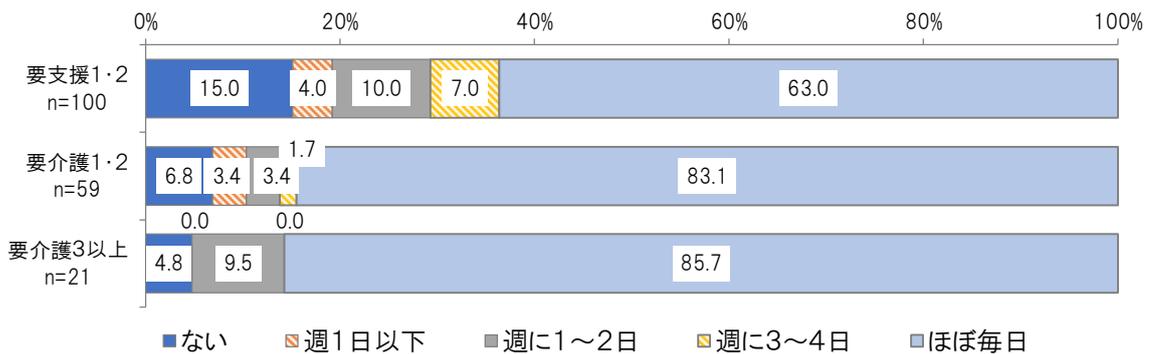
(2) 家族等による介護の頻度

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

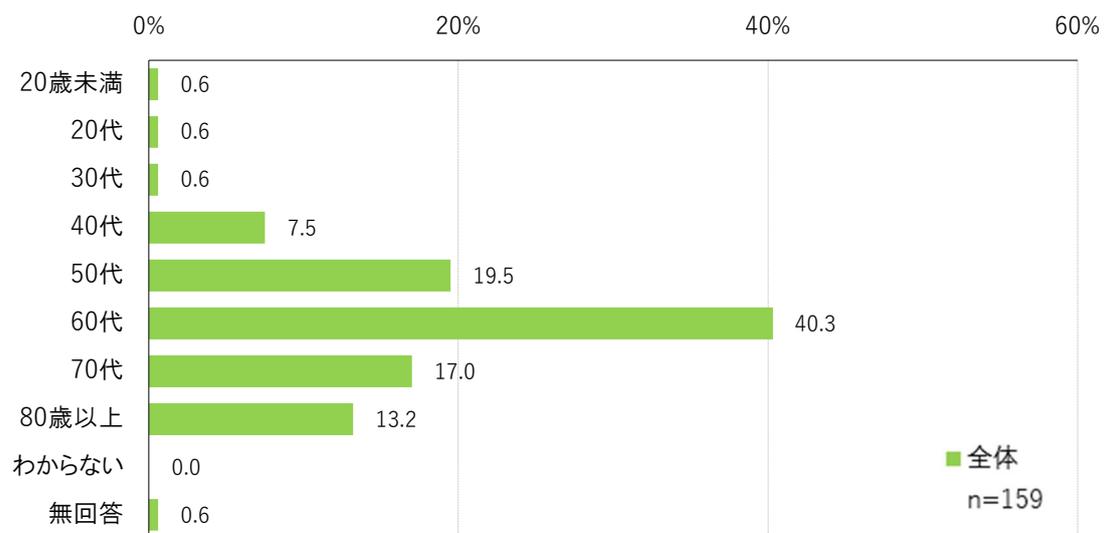
- 家族等による介護が「ほぼ毎日」が71.8%、「ない」が11.0%となっています。



- 「要支援1・2」では15.0%、「要介護1・2」では6.8%、「要介護3以上」では4.8%が「ない」となっています。



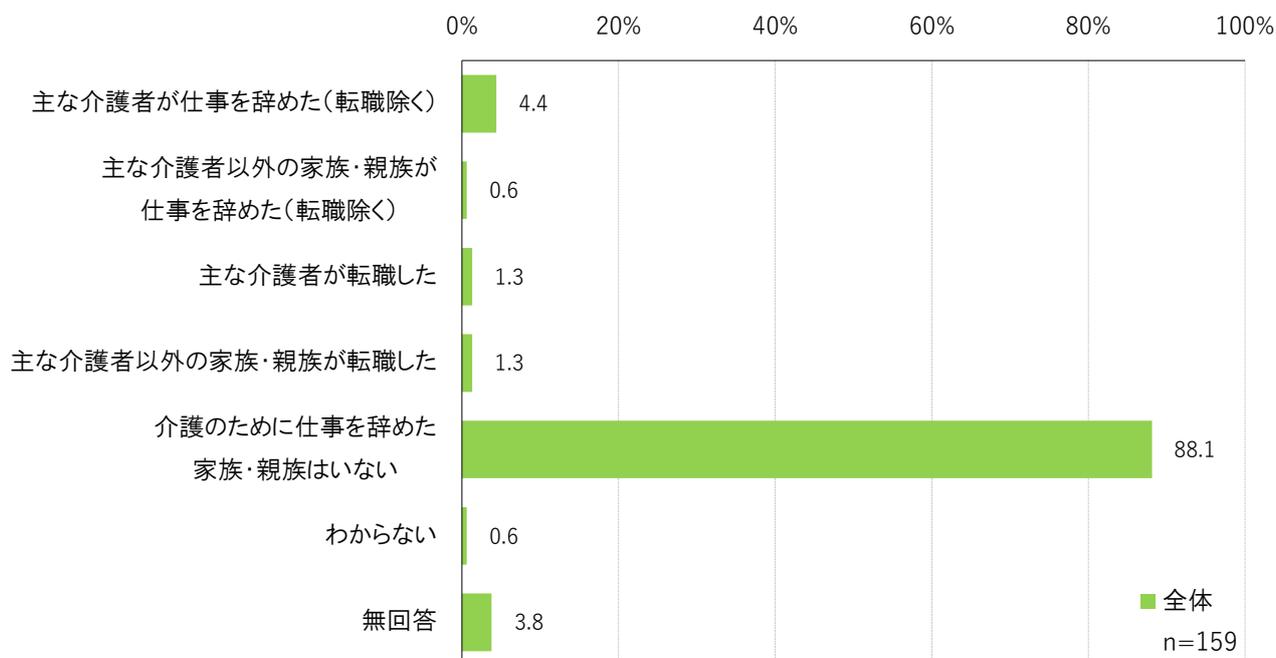
(3) 主な介護者の年齢



(4) 介護のための離職の有無

ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）

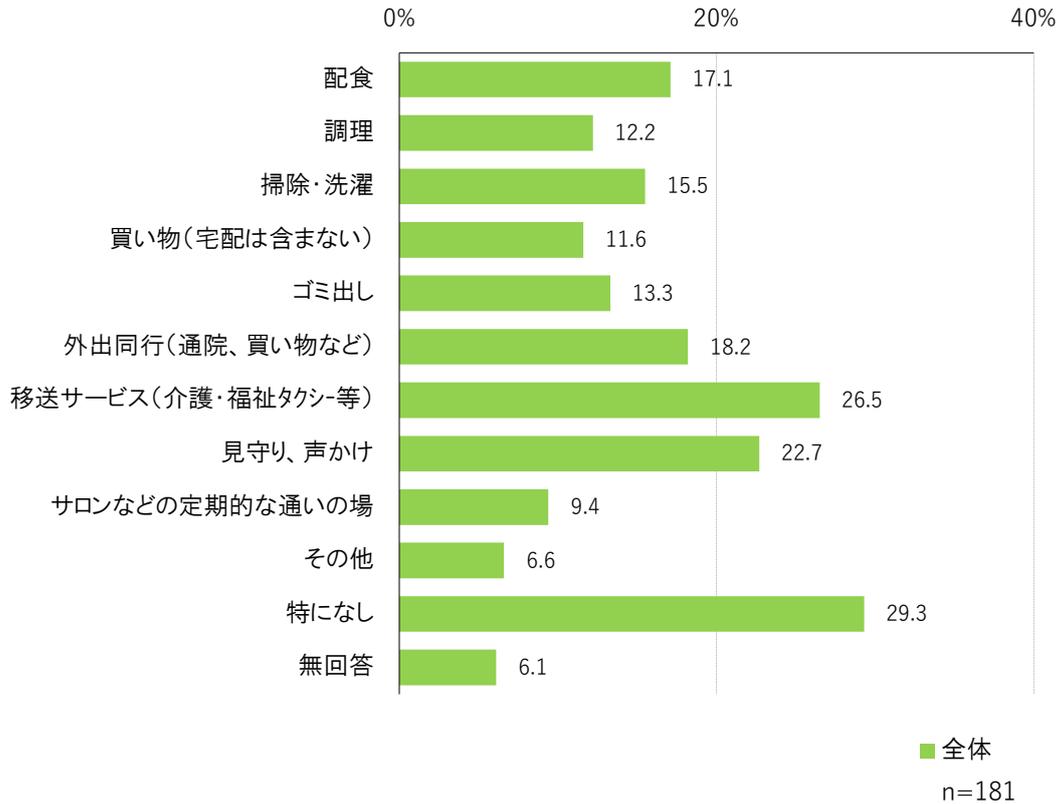
● 「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」、「主な介護者が転職した」が合わせて5.7%となっています。



(5) 在宅生活の継続のために充実が必要な支援・サービス

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。

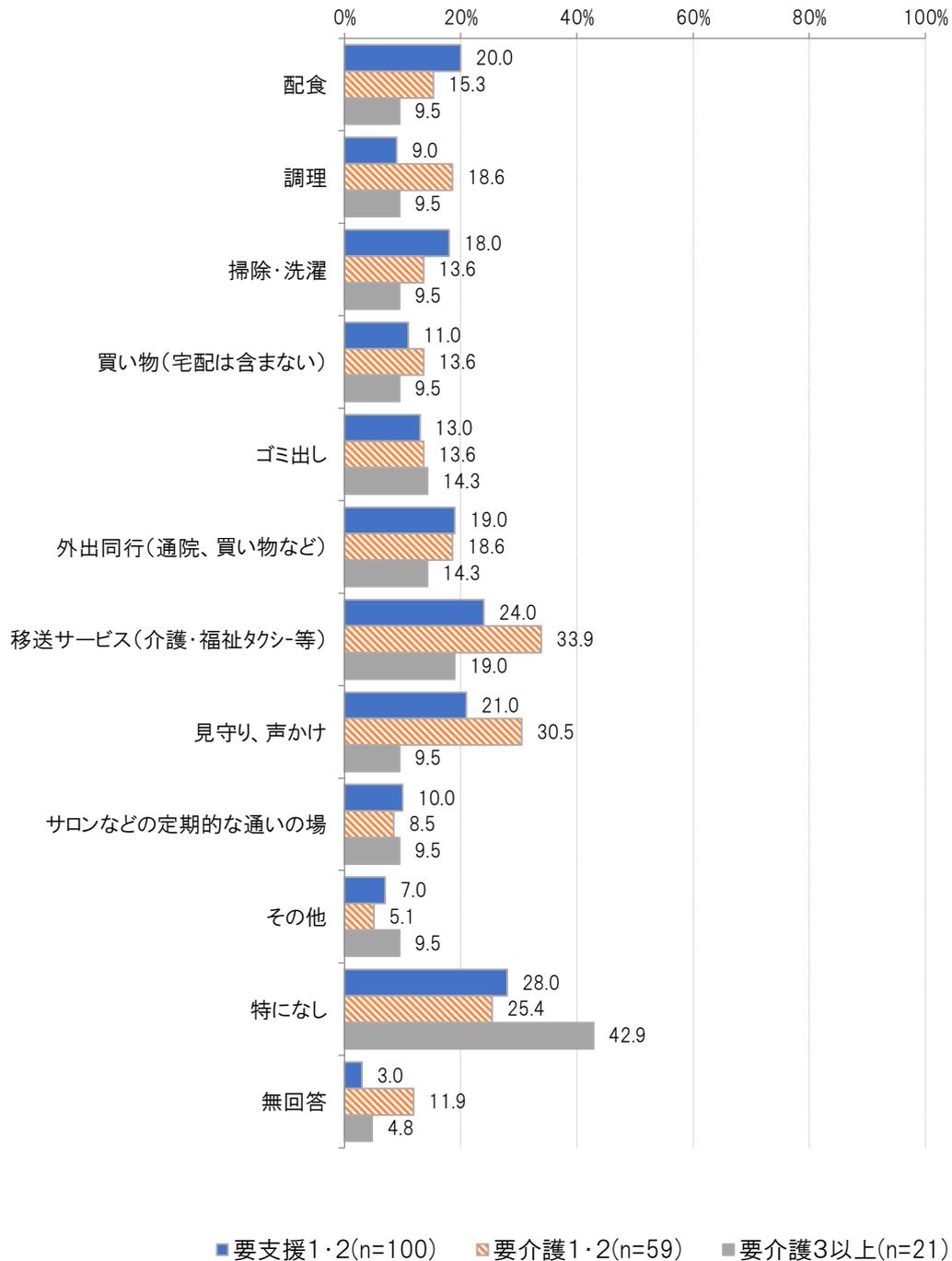
- 「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 26.5%、「見守り、声かけ」が 22.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が 18.2%となっています。



- 「要支援1・2」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.0%、「見守り・声かけ」が21.0%、「配食」が20.0%となっています。

「要介護1・2」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.9%、「見守り・声かけ」が30.5%となっています。

「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が19.0%、「ゴミ出し」、「外出同行（通院、買い物など）」がそれぞれ14.3%となっています。



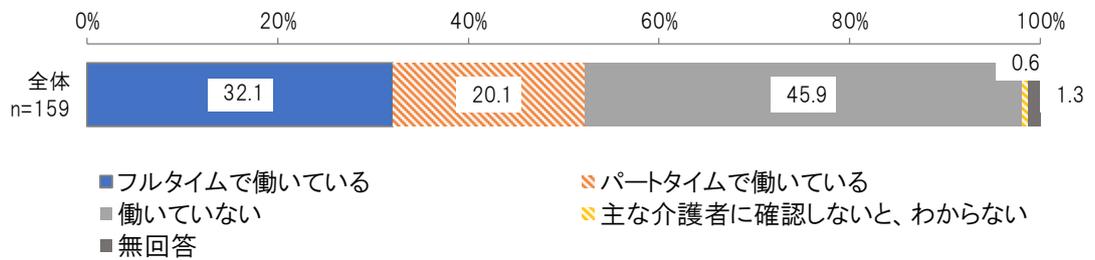
(6) 施設等検討の状況



主な介護者様用の調査項目（B 票）

（1）主な介護者の勤務形態

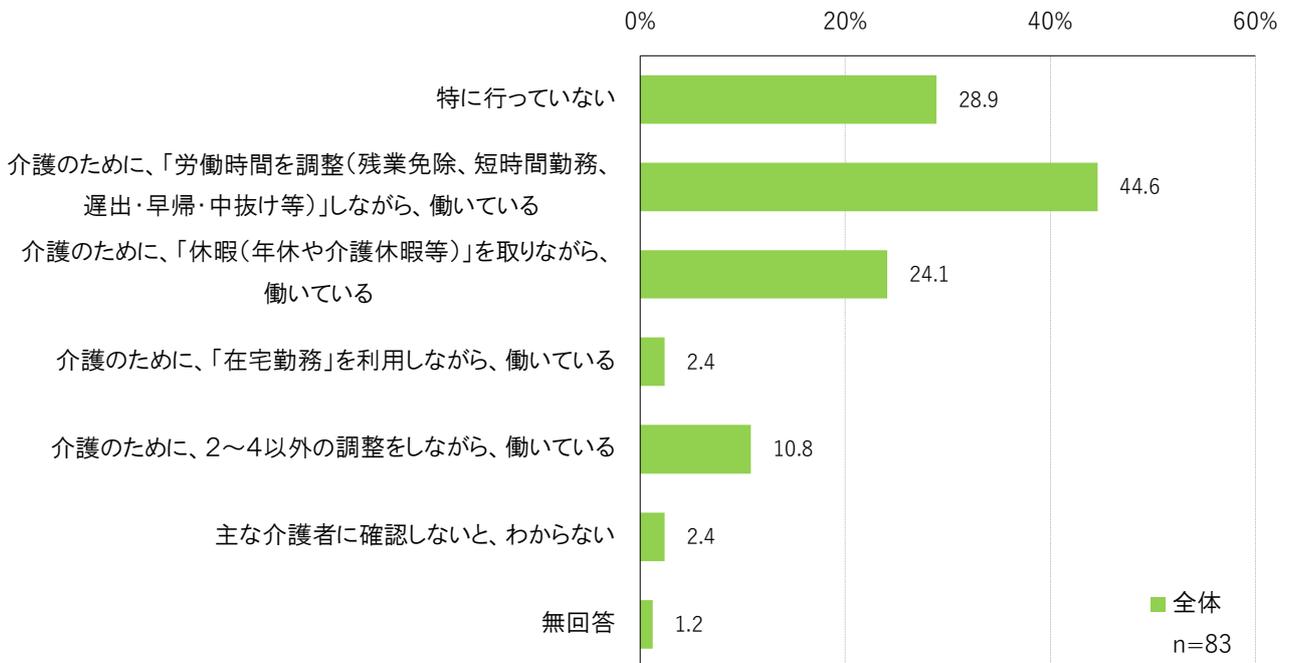
- 約 5 割の方が就労しながら介護を行っています。



(2) 主な介護者の働き方の調整の状況

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか

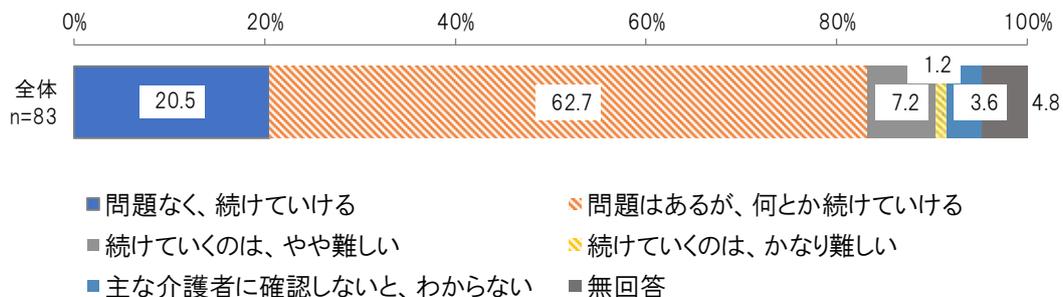
- 約8割の方が働き方を調整しながら介護を行っています。



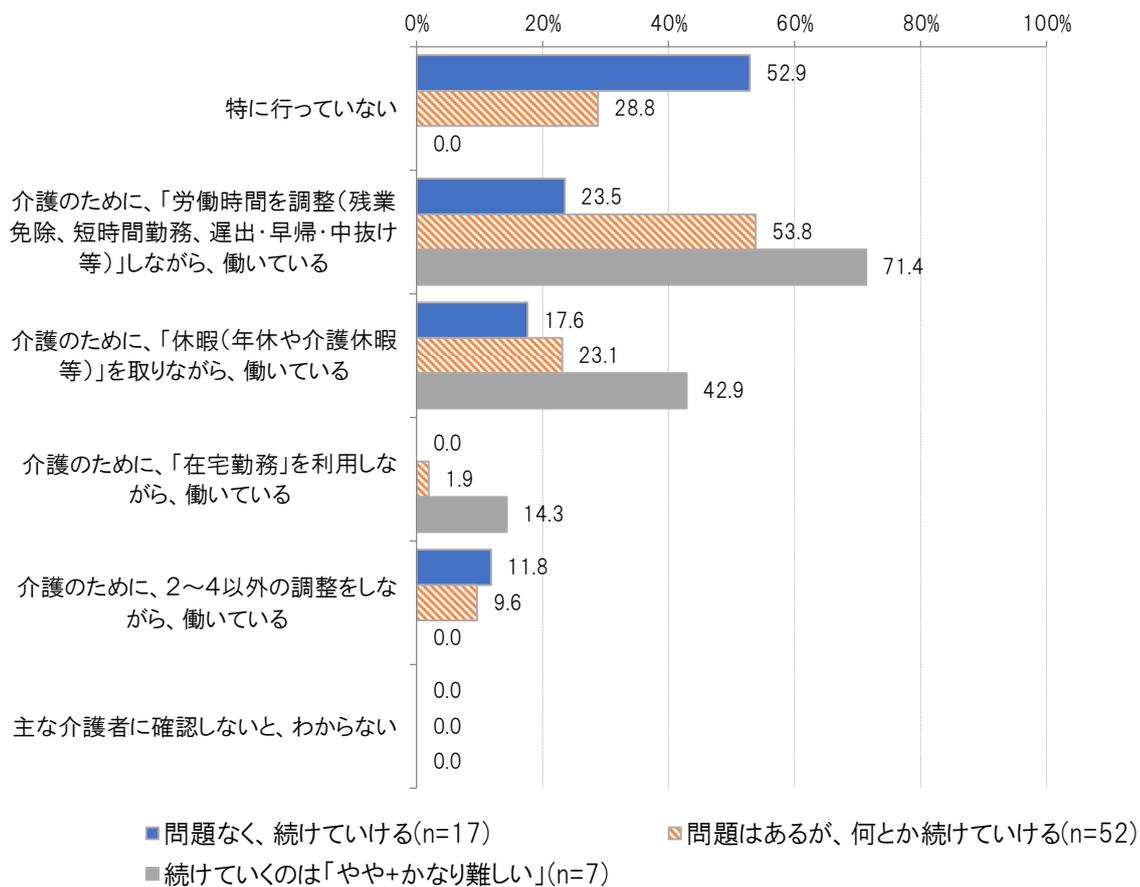
(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

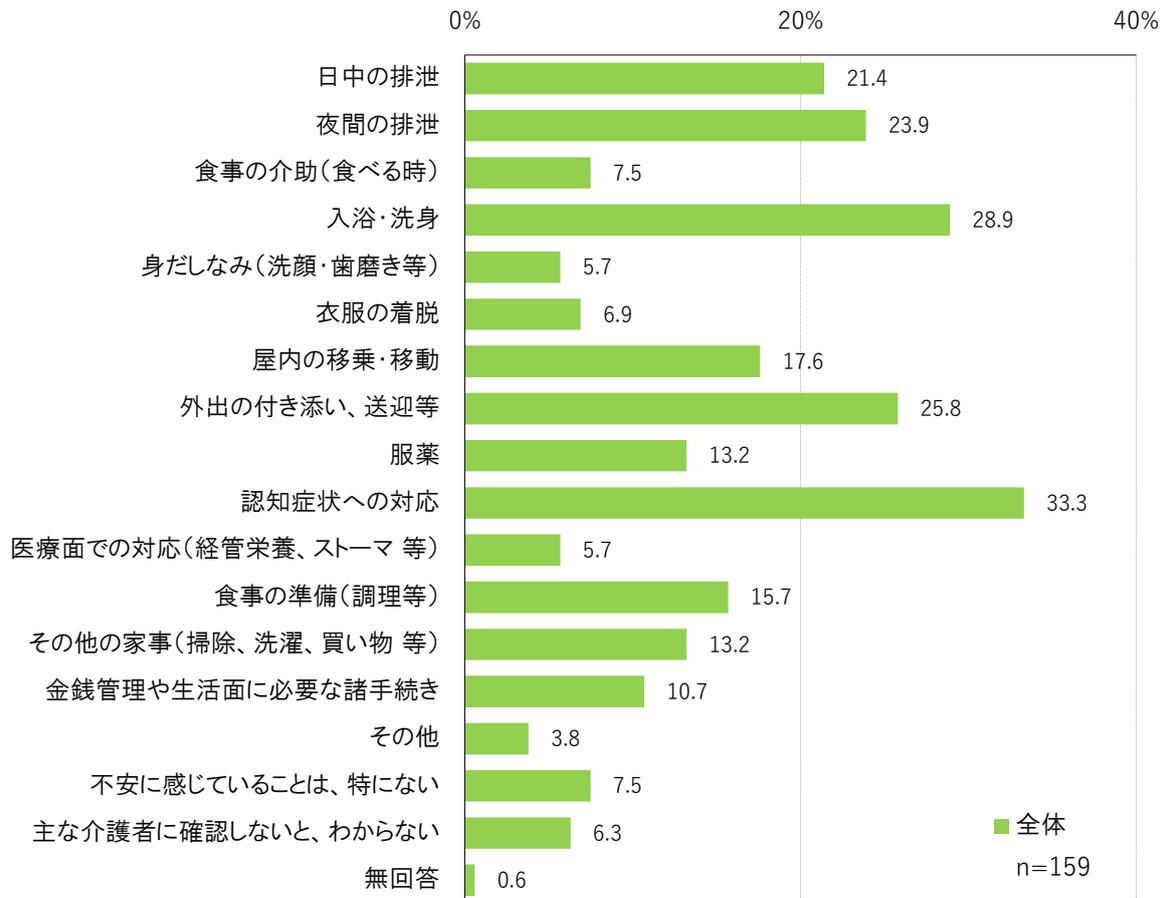
●約1割の方が就労継続が困難だと感じています。



●「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」場合においても、「続けていくのはやや+かなり難しい」と感じている人がいます。

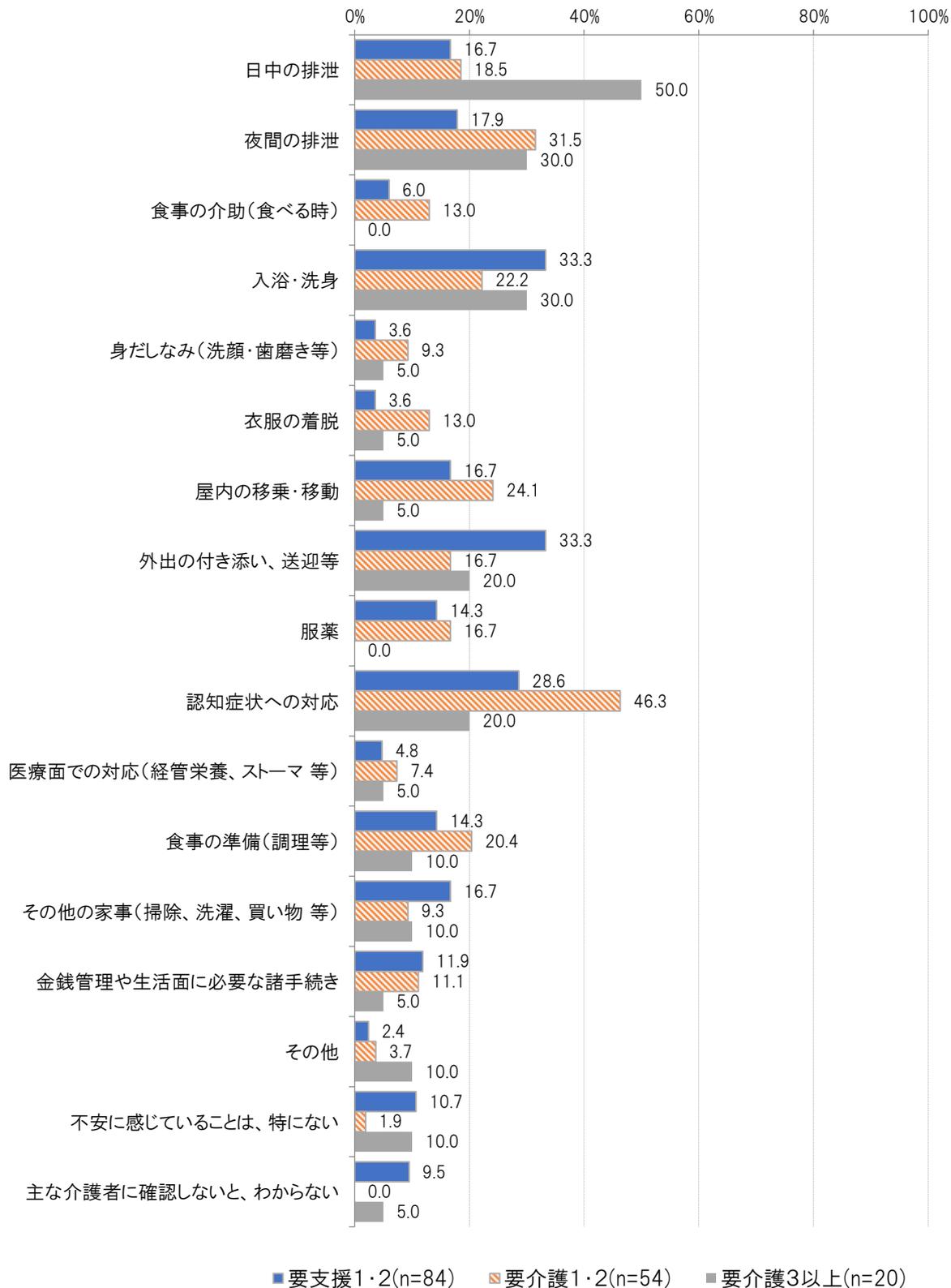


(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護



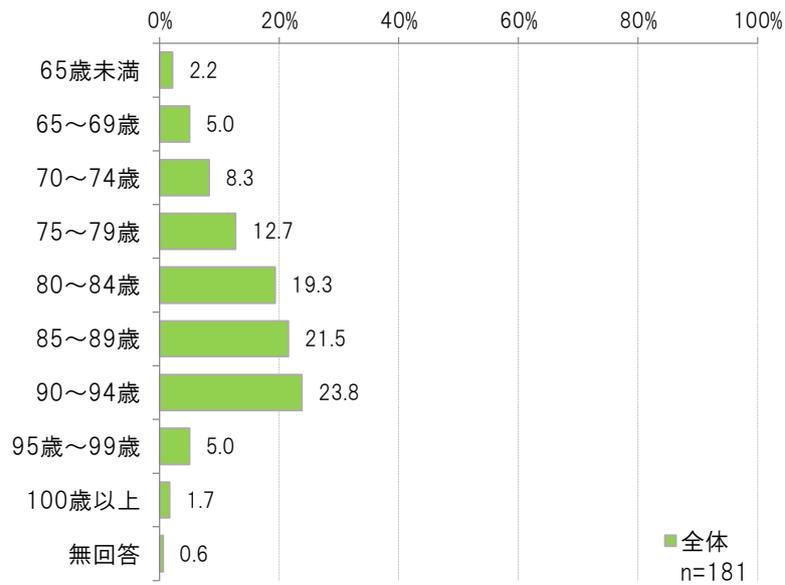
- 「要支援1・2」では「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」がそれぞれ33.3%、「認知症状への対応」が28.6%となっています。

「要介護1・2」では「認知症状への対応」が46.3%、「夜間の排泄」が31.5%となっています。「要介護3以上」では「日中の排泄」が50.0%、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」がそれぞれ30.0%となっています。

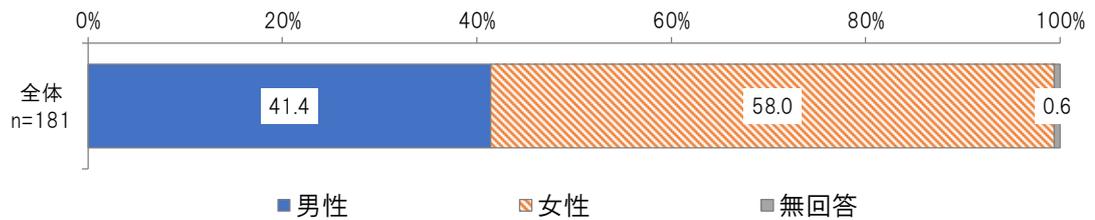


Ⅲ. 要介護認定データ

(1) 年齢



(2) 性別



(3) 二次判定結果 (要介護度)

